

吉田後援会 第十八回「花の能」

番組組

「熊野と小鍛冶」

話

東京科学大学リベラルアーツ研究教育院教授

木谷真紀子

熊野

吉田 和史

吉田 篤史

能

原

大陸

石井 景之
曾和 鼓堂

森田 保美

橋本 光史
橋本 雅夫

橋本 充基
寺澤 幸祐
山中 拓海
雅志 井上 嘉介
宮本 茂樹
吉浪 嘉晃

狂言

棒縛

茂山千五郎

山下 守之
茂山 茂

後見 茂山 虎真

休憩 十五分

仕舞

二人静

井上裕之真
井上 嘉介

通小町

吉田 潔司

能

吉田 学史

小鍛冶

岡 有松 充一

河村 凜太郎
大輝 井上 敬介
林 左 泰弘

間島田 洋海

山中 雅志
寺澤 幸祐

橋本 充基
寺澤 拓海
宮本 茂樹
深野 貴彦
吉田 篤史
浦部 幸裕
井上 裕之真
橋本 光史

附祝言

終了 十七時頃

吉田潔司



シテ方 観世流準職分

重要無形文化財総合認定保持者

1942（昭和17）年生まれ

・幼少より京都にて井上嘉介師、父 吉田佳弘に師事。

6歳にて初舞台。

同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。

・昭和47年に独立。石橋・乱・道成寺・砦・求塚・清経恋之音取・正尊を開曲。

・吉田嘉謡社二代目社主として、平成4年より京都で「花の能」を自主公演するなどの演能活動の一方で、京都府各所（京都・向日）・広島県各所（尾道・鞆・福山）に稽古場を持ち、謡曲・仕舞の指導を行っている。

シテ方 観世流準職分

重要無形文化財総合認定保持者

1974（昭和49）年生まれ

・幼少より京都にて井上嘉介師、父 潔司に師事。

3歳「鞍馬天狗」花見にて初舞台。同志社香里中・高へ進学、同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。

・平成13年に準職分を取得し独立。石橋・乱・千歳・道成寺を開曲。

・平成4年より京都で「花の能」を公演するなどの演能活動の一方で、京都各所・岐阜各所・広島各所・東京・愛知・大阪に稽古場を持ち謡曲・仕舞の指導を行っている。（現、吉田嘉謡社三代目社主）

・平成23年に地元向日市にて、ひまわり栄誉賞を受賞。

吉田篤史



お客様へのお断りのご案内

◆テープ録音・ビデオ撮影はお断りします。◆事務局で許可した以外の方の写真撮影はお断りします。◆場内は携帯電話等の呼び出し音はお切りください。◆都合により出演者に変更がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。◆東隣に有料駐車場（20台程度）があります。満車の場合は道路左寄り（数台・有料）または、岡崎公園地下駐車場をご利用ください。◆当日配布するパンフレットにあらすじをコミックにて掲載しておりますので鑑賞の手引きとしてご覧ください。

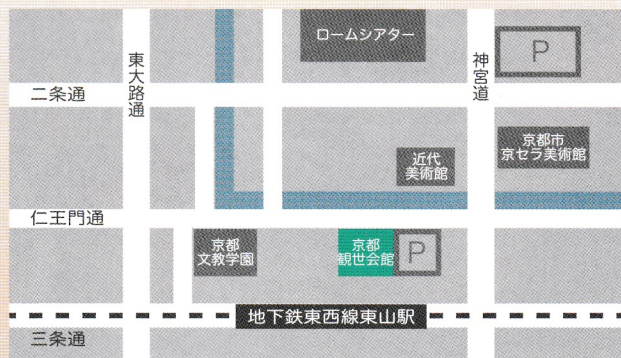
・・・あらすじ・・・

熊野

平宗盛の寵妾熊野は、故郷遠江から朝顔が持参した病母の手紙を見せ暇を乞うたが、花見の供を強いられ、同車し清水にいく。酒宴の席にて舞を舞うが、村雨が降り出し、歌を詠み短冊を認める。それを見た宗盛は哀れに思い、暇をあたえ、熊野は喜び東へ帰る。

小鍛冶

勅使より御剣を打つよう命じられた三條の小鍛冶宗近の前に、一人の童子が現れ、御剣は成就すると語り、稲荷の山の方へと消え失せる。宗近が祝詞を捧げていると、稲荷明神が現れ相鉗を打ち、剣を小狐丸と名づけ、勅使に捧げ、再び稲荷山に帰る。



- ・市バス（JR京都駅から）5番または100番に乗車「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車
- ・市営地下鉄 地下鉄東西線「東山駅」下車

観能券ご希望の節は、郵便・電話・FAX、またはホームページ・Eメールにてお申し込み下さい。

お申し込み先 吉田後援会

TEL& FAX 075-932-5066 FAXには本紙をご利用ください
Email mai-monchan@s6.dion.ne.jp

住所 〒617-0002 京都府向日市寺戸町山縄手 27-78
吉田後援会ホームページ <http://www.hana-no-noh.com>

お名前 _____ 前売券 学生券 _____ 枚

ご住所 _____

お電話番号 _____